

2024 年度事業報告書

特定非営利活動法人 移動サービスアクセス

はじめに

2002 年 4 月に任意団体として発足したアクセスも早いもので 24 年目を迎えました。利用者さんもその分年齢を重ねられていますが、私たちメンバーも益々高齢化しメンバー不足が大きな課題でした。そんな中昨年春、新たに緑区・都筑区から 3 名の仲間が増えたことで活動のエリアも広がりました。一方、いろいろな課題に気付くたびに利用者の生活全般の手助けをしたいと思うようになりました。そこで昨年度は定款を変更し相談支援事業開始の準備を始めていましたが、開設のための研修に申し込んだところ、移動支援の 10 年の実務経験があるにもかかわらず現状の制度の壁に阻まれて受講が認められず、事業開始することができなくなりました。

これまでの活動の中でできることをこれからも変わらずに続けていきます。

1. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

I. 移動制約者に対する外出支援を行なう福祉有償運送事業

内 容：だれでもいつでもどこへでも自由に外出できる社会をめざして
「車による送迎」と「介助」で外出支援

日 時：年間を通して

場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として

従事者人員：運転会員（14 名） 横浜市生活支援事業に必要な資格を有しています

介護福祉士 2 名、ヘルパー 2 級（初任者研修）3 名、知的障害者ガイドヘルパー 10 名

受益対象者：利用会員 3 月末現在 42 名

延べ実利用人数：334 人（月平均 28 人）（前年比 103%）

件 数：2,668 件（前年比 109%） 2,770 トリップ（前年比 113%）

月平均 231.08 トリップ（1 人平均 8.25 回/月）

目的別内訳：①通 院 13 トリップ（前年比 27%）

②通学・通所（ガイドヘルプ事業） 2,487 トリップ（前年比 111%）

余暇支援（ガイドヘルプ事業） 144 トリップ（前年比 112%）

③自費余暇（入居施設⇄自宅,お出かけ等） 126 トリップ（前年比 83%）

活動時間： 1,377 時間（前年比 108%）

事業収入： 2,752,000 円（前年比 112%）

支 出 額： 2,834,680 円（前年比 111%）

○横浜市健康福祉局福祉保健課へ福祉有償移動サービス関連報告等の提出

「登録事項変更届」（車両の増減車）「年間輸送実績報告書」「事故報告」等 必要な届出書を速やかに提出しました。

○ 昨年度に引き続き、横浜市在宅重度障害者福祉タクシー利用券取扱事業者として活動しました。

福祉タクシー券利用者：22 名 利用枚数：1,547 枚（前年比 96%） 773,500 円

外出支援福祉有償運送ご利用料金の 28%

〔福祉タクシー券利用状況〕

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用枚数	122	142	131	132	44	12	242	218	166	139	124	75	1,547

○自動車事故対策機構(NASVA)2024 年度運行管理者研修受講 1/7

Ⅱ. 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（通称 障害者総合支援法）に基づく移動支援事業（横浜市地域生活支援サービス事業）

「通学通所支援」

内 容：「自宅」と「支援学校」間、
「自宅」と「作業所・地域活動ホーム 等」間を 車（福祉有償運送）で送迎

日 時：年間を通して

場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として

従事者人員：運転会員（14 名）

受益対象者：利用会員のうち契約者数 37 名（通学 4 名 通所 33 名）

通 学 ： 185 件（前年比 124%）

通 所 ： 2,302 件（前年比 110%）

合 計 ： 2,487 件（前年比 111%）

「移動介護」

内 容：グループホーム入居者の一時帰宅時やショートステイ利用時の送迎

日 時：年間を通して

場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として

従事者人員：運転会員（14 名）

受益対象者：利用会員のうち 5 名

件 数：144 件（前年比 112%）

（ガイドヘルプ事業全体で）

収 入 合 計： 3,609,170 円（前年比 114%）

支 出 額 ： 3,131,178 円（前年比 112%）

○利用者の個別支援会議に出席（利用者 1 名 9/27 4/9 の 2 回）

Ⅲ.「横浜市障害者ガイドボランティア事業事務取扱団体」としての事業

内 容：支援学校への通学支援、作業所への通所支援、視覚障害者の外出サポート等「横浜市ガイドボランティア制度の周知」および「コーディネートの実施」

日 時：年間を通して

場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として

従事者人員：コーディネート 1 名

受益対象者：支援対象登録者数 3 名

ボランティア登録者数 5 名

活動件数：249 件（前年比 119%）

手数料収入：53,360 円（前年比 108%）

支 出 額：53,700 円（前年比 103%）

〔横浜市障害者ガイドボランティア事業の利用状況〕

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	11	7	20	31	16	21	26	16	23	26	25	27	249

青葉区移動情報センター主催ガイドボランティア養成講座（視覚障害者）7/2 のお手伝いをしました。

3/6、4/11（新規支援対象登録者の支援会議）

Ⅳ. 障がい児・者の生活を支える相談支援事業

事業を開始するための研修を受講できず、事業を開始できませんでした。

現在アクセスの利用者は 42 人ですが、個別支援会議への参加要請があったのは 5 人でした。

電話での聞き取りが 6 件ありましたが他の方については送迎時の様子をお伝えする場也没有ありません。

利用者の移動・外出を含めた生活全般をサポートできるように、今後も事業開始を目指します。

Ⅴ. その他、この法人の目的達成に必要な事業

○定例会はコロナ以来オンラインで開催し、毎月ほとんどのメンバーが出席しています。

○県指定 NPO、認定 NPO 年度末報告書類を提出しました。

○神奈川 W.Co 連合会が解散し新しい組織ができましたが、今後は参加しません。

ワーカーズコレクティブ協会も脱退します。

○(特非)かながわ福祉移動サービスネットワークとの連携

定例会において、道路運送法や道路交通法の一部改正について情報共有し、横浜市への報告書式変更や運行管理者の責務について、確認することができました。

全国移動ネットやかながわ移動ネットが主催する各種学習会の情報を共有し研修に参加し、内容を定例会でメンバーに共有しました。

○ 理事長が神奈川 W.Co 連合会選出枠の(特非)全国移動サービスネットワーク理事として以下の活動を行ないました。

定例の企画委員会(月 1 回)、理事会(年 3 回)、総会に出席しました。

市町村や社協が主催する「外出支援セミナー」等に講師やアドバイザーとして参加しました。

長野県小諸市・小布施町、静岡県熱海市・御殿場市・西伊豆町・函南町等

○権利擁護研修 6/10

あさひ又村塾 6/26

自動車事故対策機構(NASVA)2024 年度運行管理者研修 1/7

青葉区移動情報センター推進会議 1/24

神奈川県地域福祉課主催 令和 6 年度福祉有償運送制度説明会 2/6

青葉区自立支援協議会総会 3/14

○「参加型福祉」のまちづくりに寄与する活動

他団体との連携、共育、交流に努めるため、以下の組織やネットワークの定例会議等や学習会に参加しました。

青葉福祉ユニット会議 6/7 総会 9/6 12/13 3/7

○市の実地指導

8/26 健康福祉局障害自立支援課居宅サービス・移動支援担当による 運営指導

12/10 健康福祉局福祉保健課福祉有償移動サービス担当の安全確保の確認

○新規利用者との契約

8/19、 9/24、 1/7、 1/21、 2/3、 2/17、 3/10、 4/2、 4/7